

ブレイクスルーテクノロジー

■1日目：9時～22時半

■挨拶&承認

→参加まで大変だったと思います。

今日は、全国から150名参加

→複数名の名前を呼んであげてお礼をいう

■司会者の自己紹介

大切な時間、はるかに超えた価値が
得られるようにサポートしていく。

■ランドマークについて

教育のプログラムを提供している会社
過去40年 世界20カ国 200以上の地域

日本は東京、大阪、名古屋に拠点がある。
本社はアメリカのサンフランシスコ

■コースの進行の仕方

オンラインの特徴含め

何かを教えるコースではない。

私とみなさんと一緒にいろいろな会話をしていくコース

聞くだけでなく、みなさんからもお話をしてもらおう。

対話式のコースである

zoom昨日の手を挙げるボタン

質問はこの機能を使います。

(手を挙げるボタンを教えてもらって使えるか？確認)

操作がわからないって人は

画面に向かって手を挙げてもらう。

分からない場合はランドマークに電話をして

操作の仕方を教えてもらう。

■コーススケジュール

	1日目	2日目	3日目	
9:00	セッション 1			
20分	休憩	休憩	休憩	
	セッション 2		シリーズに申し込む機会	最終セッション
45分	食事の休憩	食事の休憩	食事の休憩	19:00 ゲストの方歓迎
	セッション 3			アド/レンスコースに申し込む機会
20分	休憩	休憩	休憩	22:30
22:30	セッション 4		紹介者歓迎	

3日目：紹介者を呼ぶことができる

→なんで？呼ぶようにしているのか？後々わかる

最終セッション：ゲストの方歓迎

→このコースをまだやったことがない

ご自分の家族や友達・同僚など呼びたい人を呼べる。

自分が手に入れた成果を、大切な人にも手に入れて欲しい

体験して欲しい。このコースのことを知ってもらうチャンス。

シリーズやアドバンスに申し込む機会もある。

このコースを終えた方達向けのプログラム
より深めて確実なものにしていこうっていう人は申し込みできます。

また、タイミングをみてどんなプログラムなのかはお話する。

■緊急の連絡先

書くものを取り出してください。

体調やトラブルが合った場合
zoomで不具合があった場合は連絡してください。

東京センター

03-5423-6003（土曜日以外）

080-7087-0380（土曜日のみ）

■生きることの為のカリキュラム

大学にはカリキュラムがある。
生きることとは何なのか？

自分の愛する人生をパワフルに生きている

→これを生きることとランドマークでは定義する。

行動しないと何も起きない
パワフルとは、行動のこと。

その行動が何にも止められていない。
自分を取りたい行動をとっている。

■コースに参加するための約束事

縛るための約束ではない。

参加者のみなさんの声をもとに作られた約束。

どんな風に参加をすると、成果が得られたのか？
最大限の成果を得るための約束。

1：自分の言葉を尊んで生きているか？

→約束を守るを土台にして行動しているか？

2：または理由を尊んで生きているか？

→理由に基づいて行動を取る

→言われるからそうしなきゃいけないだと
守ってもらえないので伝えるパート

■どんな約束か？

- ・休憩時はカメラOFF それ以外はカメラON
椅子に座っての参加（ソファやベットでの参加はだめ）

・コース中は司会者から指示がある時以外は
メモをとらないでください。→対話に集中する

ノートをとって覚える→それが学ぶ基本
だけど、このコースではそれをやらない。

なぜか？対話で進行するコースだから。
書いていると会話から自分を外す状況だから。

このコースから価値あることが何も得られない。

- ・私語・他のことをしないでください。
- ・著作権保護：参加者のプライバシーを守る為
コースの録音・録画&スクショもダメ
- ・他の方の個人情報・発言内容を周囲の人に話したり
SNSでアップしたりしないでください。

- ・コースは医学治療ではない。
健康のことに関して扱うことはできない。

■守ることを推薦する約束

最高の成果を得るのであれば約束を守ったほうが絶対にいい
強く強く推薦する約束

- ・すべての日程に参加すること
(途中抜け・早退・遅刻をしないように)
→どこで大事な話になるかは分からない。
→急に深い話になったり、大事な話になったり突然起きる。
- ・最終セッションまでお酒は飲まないこと (5日間)

大人さが必要なコース (大人として扱わせていただく)
自分を自分でサポートしてください。

■コースの参加の仕方

研修・勉強会とは違った性質をもっている
→対話を通して進行していく (何度も伝えている)

やり方や方法論を教えるコースではない
なにかの知識を与えるコースでもない。

探求

正解があるものではない。正解を教えるものでもない。

探求の質問をしていく。アプローチ方法をしていく。
みなさんが自分自身を探求していく。

それぞれがそれぞれの発見をするのが探求

■2つの落とし穴

1：分からないができててもOK

2：知ってる・できてるは横におく

→気づいていないことが山ほどあるかも

知っていることを知っている分野

→知っている自分を自覚している状態

知らないってことを知っている分野

→知らないっていうことを自覚している。

このコースは、

知らないっていうことを知らない分野を扱う

人生には巨大にある。

知らないことすら気づいていない。盲点

■本当の自分とは何者なのか？

もしかしたら本当の自分ではないかもしれない。

中国で生まれた世界の3大神秘

1：魚には水がみえない

2：鳥には空気がみえない

3：人間には自分がみえない

あなたが何者であるか？からすべてが始まる。

■トランスフォーメーション

物事が新しく形作られる

パラダイム・シフト

このコースでのトランスフォーメーションの定義は、
新しい可能性の領域の誕生

あらゆる可能性を作り出せる
土地・空間・スペースを誕生させる。

■課題

休憩前
食事前
毎日終わったら
最終セッション前

実践をしないとトランスフォーメーションは起きない
セッション中は難しい。

休憩中なら可能。

.....

課題1：

このコースでどんな成果がほしいのか？を考える

課題2：

集中して参加できるよう環境を整える
(飲み物・ノートやペン・部屋を片付けるなど)

■返金もします

自分のために参加してください。

とりあえずいたら成果が起きるコースでもない。

観客席から野球を眺めているのではなく
バッターボックスに立ってください。

仕方なくきた
誰かの義理できた。

その経緯自体はまったく何の問題もない。

自分のために、自分の人生のために
積極的に参加しないと、本当にもったいない時間になる。

それが難しいって思う人は
ランドマークに電話してください。

2万円の申し込み金は返せないけど、
残りのお金は返金します。（14万円ぐらい）

→自分ごととしてコミットメントさせる

■グループ分け

4人から5人の小さいグループに分けて
ワークをする。

zoomの中だけではグループになりきれない場面がある。
もう一つ別のzoomに移動する必要がある。

.....

■分かち合いの時間

まずは全体zoomの前で

数人を指名して発表してもらおう。
(zoomの手を挙げるボタン機能)

■3名のグループワーク

分かち合う時間

.....

具体的な成果を創り出すために
あなたが取るべき2つの行動とは？

1：可能性を発明する行動

- ・ 普段、私たちが使っている可能性
→いつか？もしかすると？今ではない。

今のあなたはそういう訳ではない
いつかの話には、あなたに強烈な影響は与えない。

あなたが新しい自分が呼び起こされる
生まれ出るような。新しい行動が呼び起こされてくるような影響はない。

- ・ 新しい種類の可能性を発明したい
→今、ここに存在して、今ここにそれがあります。

在り方や行動の仕方に強烈なインパクトを与える

■まがいモノの発見

新しい種類の可能性を発明するには何が必要なのか？

その可能性に本物さが必要になる。

→まがいモノさもある。本物の種類もある

自分のまがいモノさ、それに本物であることが
新しい可能性の入口になる。

まがいモノとは？

→なんらかのフリをしていると考えてください。

実際の自分はこうなんだけど、
人には違った表現をしている。

- ・全体で分かち合い

まがいモノであることで、パワーの無さ、
自由さの無さ、自己表現の豊かさ、愛の大きさが欠如する。

- ・3名グループで分かち合い

どんなまがいモノさが見える？
どんなフリが見える？分かち合い。

2：その可能性をエンロールすること

エンロールメント

新しい可能性を発明することによって、
あなた自身をトランスフォームした後、
発明した可能性を成就することにおけ
る次のステップは、エンロールメントを通
じて周囲の環境をトランスフォームする
ことです。

エンロールメントとは

エンロールメントとは、相手の人が
その可能性に
心を触れられ、
感動し、
インスパイアされる
ように、新しい可能性がその人に
プレゼンスすることを引き起こすこと。

相手の人がその可能性に心を触れられ
感動し、インスパイアされる。

世界はそれを知らない、人々も知らない
古い自分に囲まれた新しい自分という環境。

予測もしないような大きな達成、
人に深い影響を与えることは難しい。

相手の人に新しい可能性のあなたが
紛れもなく存在することが大事。

■分かち合い

→エンロールメントの土台だよ。

コミュニケーションが必要

悲しみ、喜び、嬉しさ

今自分にあることを正直に言葉にして伝えること。

相手の人を自分の世界に入れてあげるという行為
分かち合えないとあなたに触れることができない。

まがいモノとして分かち合いをしない。

人間関係・愛は分かち合いの深さと比例する

■スタック

→張り付いている 止まってしまっている 停滞

人生でスタックしていることはどんなことがある？

家族との時間が作れていない

本当はこうしたいけど、できていない

- ・どんなことなのか？

家族との時間が作れていない

- ・いつからはじまり、どのくらい続いていますか？

一ヶ月ぐらい前から

- ・そのことの何が悪い？

子供の成長を間近でみれていない

- ・誰のなにが良くないの？

自分の仕事やイベントスケジュール

- ・そのことの問題は？

- ・そのことは何を意味している？

- ・それはどうなるべきですか？

毎日、家族との時間を少しでも取る

- ・誰が何をする必要がありますか？

スケジュールや仕事をセーブする

- ・このままだと、この先どうなりますか？

■ストーリー（物語）

ストーリーとは、
様々な解釈がつなぎ合わされた話

なにかについての考え・説明・解釈
創造・推測・予測などによって作られた話

私達を協力の限界づけている壁の一つは
自分が作り出したストーリー。

プレッシャーがある
→1つの物語であって起きたことではない。

起きたことと起きたことについての自分のストーリーを混同する。
それが一つの世界を構築する。

悪循環の世界で生きてしまっている。（無意識）

自分の人生のスタックしていることは
起きたこととストーリーの混同です。

■食事休憩に入る前にグループにする

グループにする目的：

150名いるので十分に分かち合う時間がない。
大勢の前では一步踏み出せない。
分かち合うことの練習の場にして欲しい。
他の人の分かち合いを聞く中で自分を発見していく。

お互いを力づけ合う関係にしてください。
10代の不良グループにならないように。

グループ全員がブレイクスルーをすること
私の責任として取り組んでいこう。と考えて欲しい。

グループになったの自己紹介（名前・仕事・得たい成果）20分
グループリーダー（卒業生ボランティアスタッフ）

食事休憩：45分

食事中の課題：

私は人生のどこで起きたこととストーリーを混同しているだろうか？

決まったグループで分かち合い：20分

.....

起きたことと区別を失っている

混同していることで失っている人生は、どんな影響がある？

自分への影響（例）

- パワーと自由の欠如
- 自己表現の欠如
- 愛や信頼を失う
- パートナーシップをつくれな
- 喜びや感動がない
- 人生がいつもと同じ、つま
- 許す心 大きな心を持たな



周り・相手への影響（例）

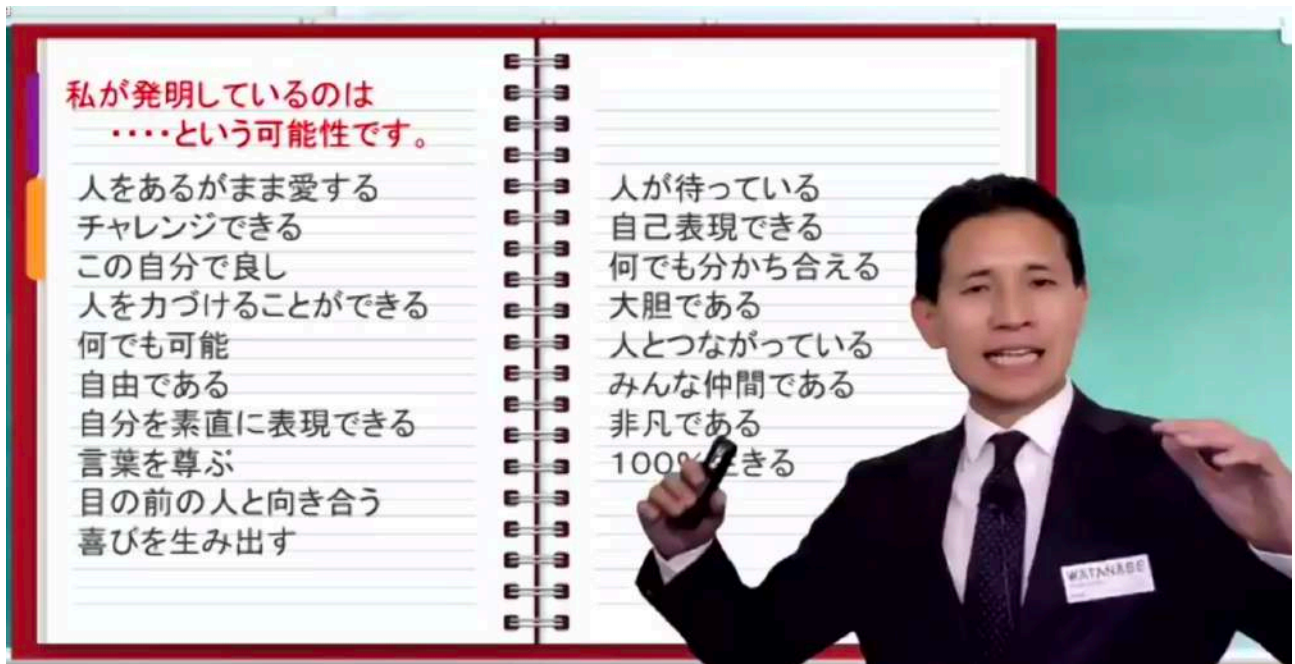
- あなたから力づけられない
- あなたに触れることができない
- あなたに対してあきらめる
- 成長できない
- あなたへの愛を失う
- 勝利がない

人生への影響（例）

- ストーリーを正当化するために人生が費やされる。
- ストーリーに合う世界しか見えなくなる。
- ストーリー以外の可能性が排除される。
- 未来はストーリーの続きになる。

可能性を発明するための構造

1. 私は・・・という振りをしていました。
2. 実際には・・・でした。
3. このまがいものの影響は・・・です。
4. そのまがいものであるとき、私にはずっと・・・が欠けていました。
5. ここに立って、私が私自身と私の人生のために発明しているのは・・・という可能性です。



■ラインで繋がる

最強のチーム：一緒に探求しよう
目の前の人に貢献しよう：関わり合い

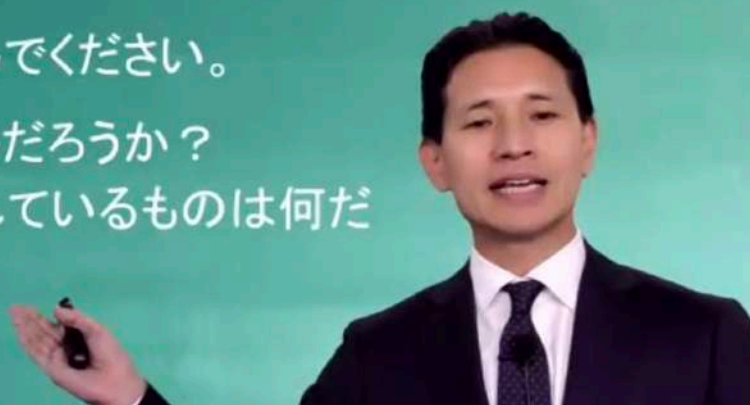
ラインで繋がる：名前と番号おくる
課題内容を送ったりする

休憩中の課題

以下の質問に取り組んでください。

私は本当に聞いているだろうか？

本当に聞くことを邪魔しているものは何だろうか？



コースの3つの原則

あなたはそのまま完璧で完全に完了している。

そして、人生の喜びに満ち溢れている。

でも、それを体験したり表現するには壁を持っている。



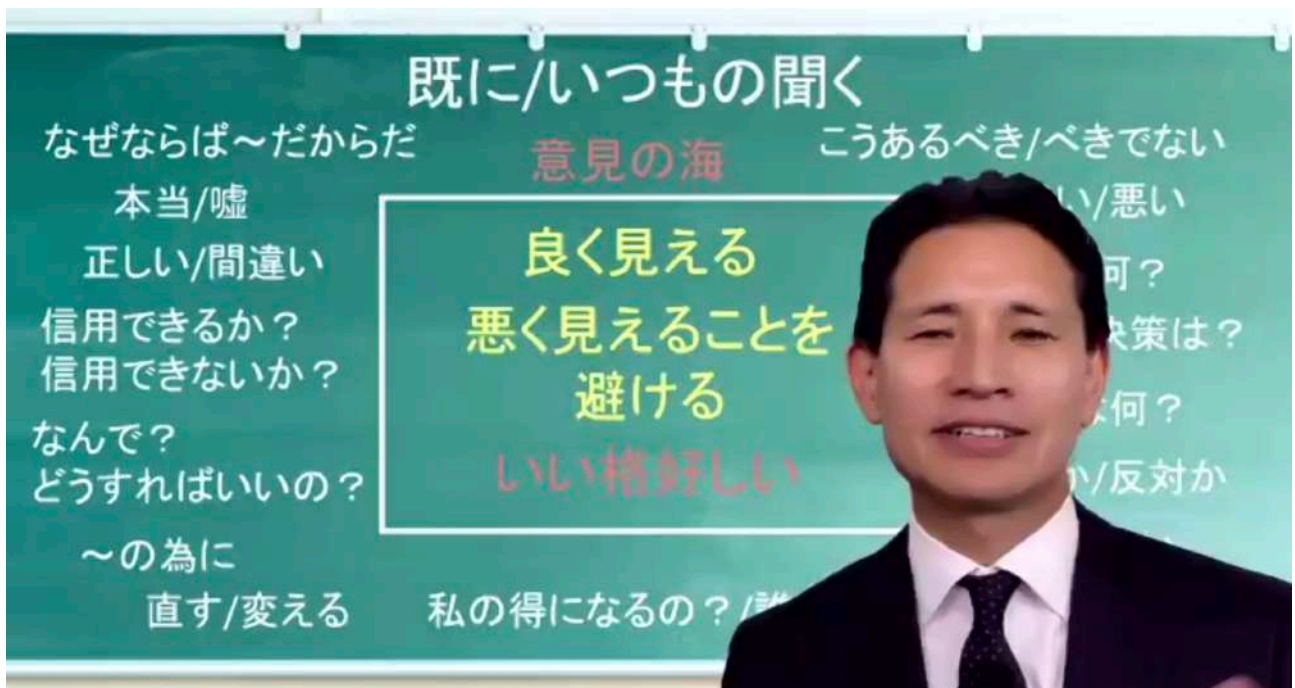
1：上の画像↑

2：変える＝継続を引き起こす
根本的に変わりましたか？

3：「変えない」：消滅を引き起こす

聞いていないってこと。なぜ聞けないんでしょう？

すでにいつもの聞き方



■ええ格好しい

すでにいつもの聞くは自分のため

根本にある関心。自分が良く見られたい。

そのために生きているといってもいいぐらい
それぐらい染み付いている。

なぜ?良く見られたい

→ええ格好しい

それが見えれば見えるほど
持ち物ぐらいになってくる

自分次第の人生が可能になってくる

人からよく見られないので
良い格好しいで皮肉さや諦めも隠す

- ・理由をつくる
- ・立証していく

正当化するための理由

■明日までの課題

明日までの課題

✓ いい格好しいにどれくらい振り回されているかを更に深く発見し、その影響の大きさを発見する。



分かち合うように手紙に書いてくる

亡くなられた方でなくてご健在の方。

会社の誰々、家族、親友、友達、誰でも構わない

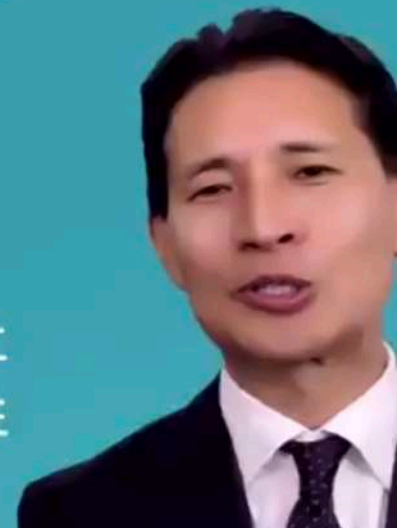
分かち合うように書く

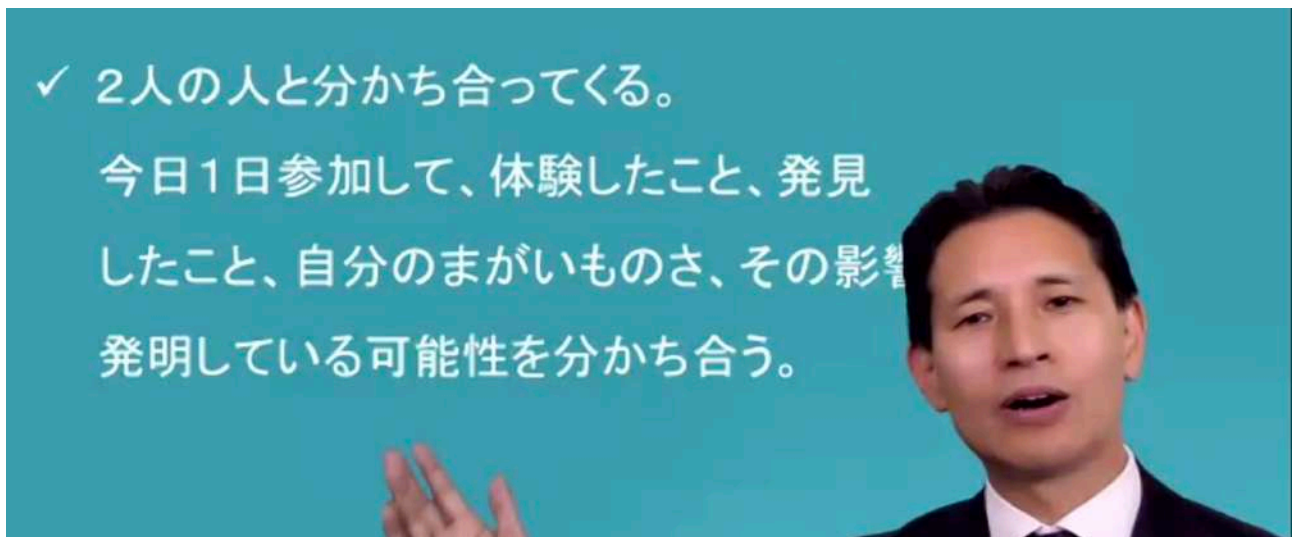
手紙には以下の内容を含んでください

私は・・・を得るためにブレークスルーテクノロジーコースに参加をしました。

私は・・・を得ています。

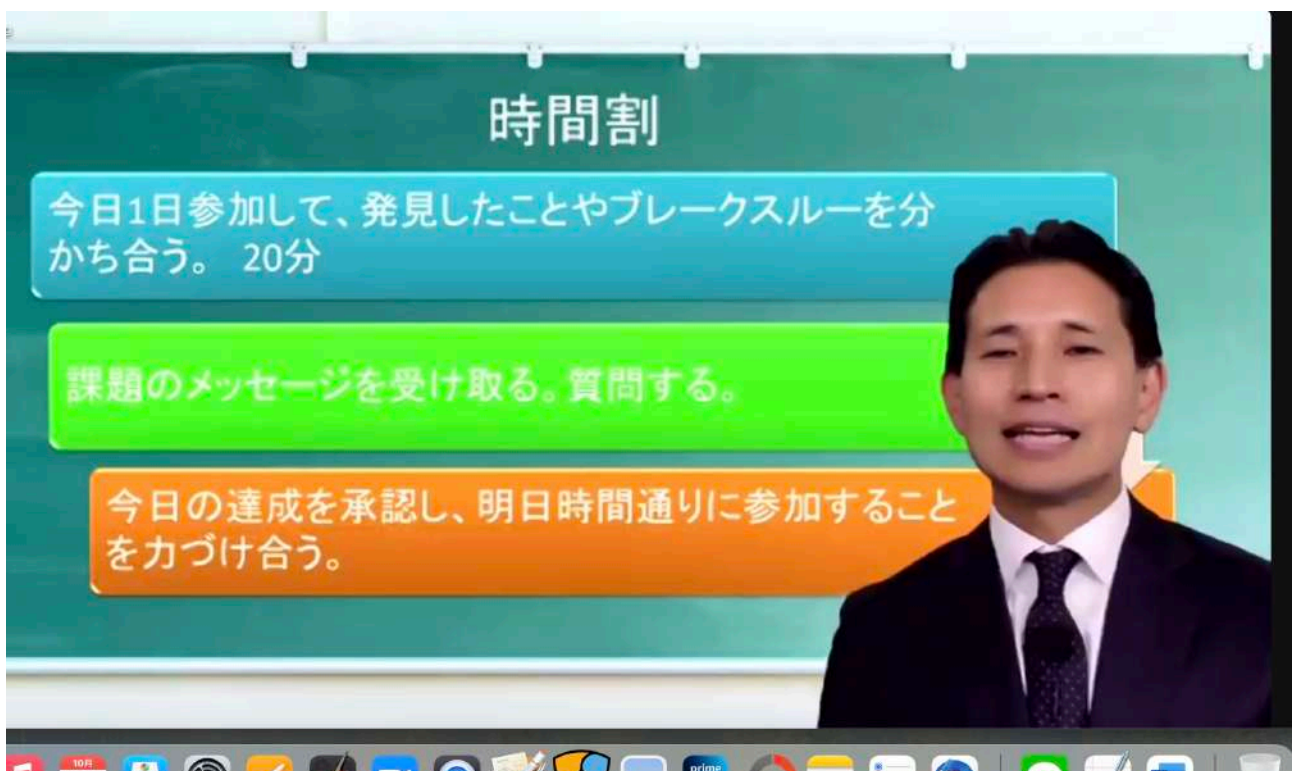
私が自分自身と自分の人生のために発明しているのは・・・という可能性です。





2人のうちの1人は紹介者を推薦する。

※分かち合う課題：コースを説明するってことではない。



全部のセッションが終わった後、全体zoomで質問タイムあり
22時40分～（何時までやっているか？はわかりません）

■15%しか伝えられていない

初日は15%しか伝えられていない。

まだまだ85%も残っているので明日以降もしっかり参加してね。

期待していてね。

■2日目：9時～22時半

■課題からの分かち合い

宿題の手紙を全体&グループでシェア

なぜ手をあげていないのか？

何があなたをそうさせているのか？

良い格好しいがあなたの手をおさえているかも...

分かち合い

1人1人手紙を分かち合ってください。

分かち合いを聞く時に、その人の手紙の中に自分自身や自分の人生を発見するように聞いてください。

全員が手紙を分かち合い終わって、まだ時間に余裕があったらもう1つの課題「2人の人に分かち合う」に取り組んで、誰とどんな分かち合いができたか、そのことでどんな体験や発見があったかを、分かち合ってください。

■あなたの紹介者は、 なぜ？あなたをコースにご招待したのか？

これを考えさせて全体でシェアさせる

明日コースを分かち合う。ご招待できる機会がある。

コースの最中になぜ？そんな機会があるの？

→分かち合うことでお互いが上にいくため

大切な人には薦めたくなるよね？

営業のためでしょ？と思っている人 画面に向かって手を挙げて

→なぜ？それを言わないのか？

そう思うのはよくわかる。

私も30年前に参加したとき思った。

■もしかしたら、そのためではないかもしれない とを考えてみてください。

ランドマークの営業のために招待したと思いますか？

→思わないですよ？

なにか特典があって、割引とか、マージンがあるとかで招待したのではない。
一切、そういうことはない。

ティッシュ一つもらえません。

にも関わらずあなたを招待した。

なぜなのか？→紹介者の人生の大事な一部だったから

あなたがよりパワフルに生きることより満たされること
紹介者の人生がそういう人生になるってということとイコール。

そんな風にあなたの存在をみているのかもしれないと
試しに考えてみてください。

■グループでの分かち合いシェア

あなたの紹介者は、

なぜ？あなたをコースにご招待したのか？

会話をきいて発見したことは？

■自己表現や分かち合うことを止めるもの

1：良い格好しい

→知らないことすら知らないレベルで

2：恐れ

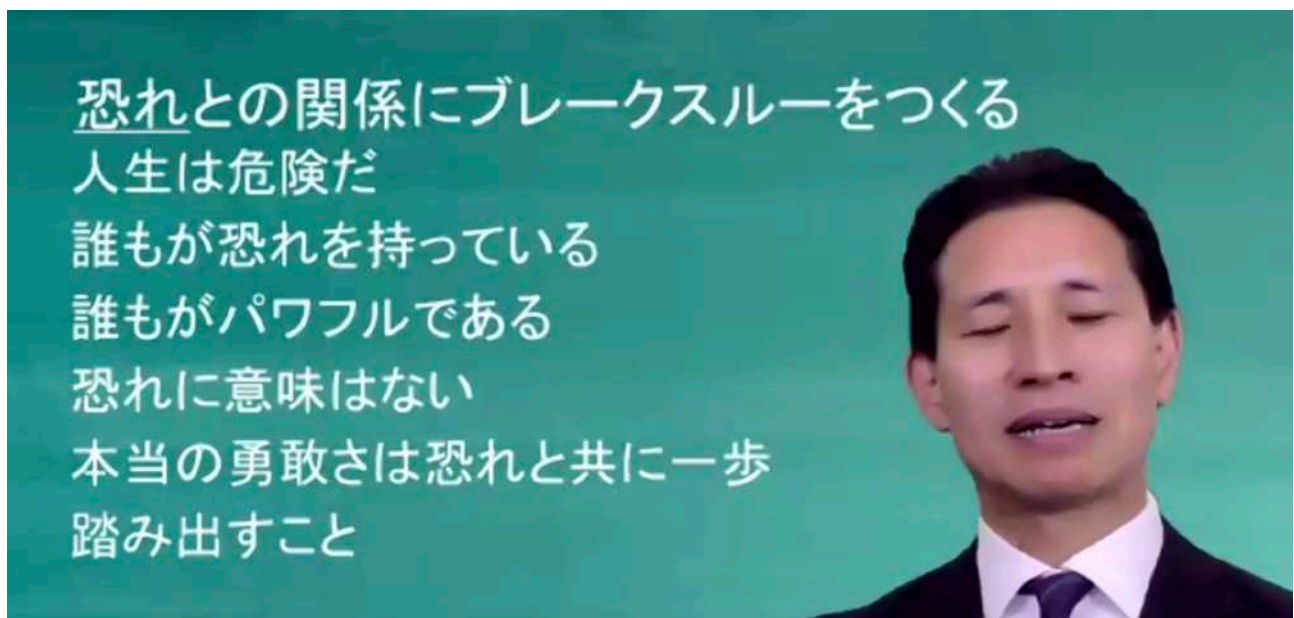
→恐ろしさがある、自由な自己表現はない。

慎重な 控え 固まり

恐れに責任をとる

これに平気なふりをして生きていたら、振りに振り回される
まがいものの自分になってしまう。

良い格好しいと恐れに責任をとる




恐れない人にはついていけないほうがいい。
恐れがあったほうがパワフルになる。

■休憩

休憩中の課題
継続している不満を見つけて


欲しくないけれど継続していること
こうあるべき、こうあるべきではない
繰り返されている
相手が不満を言っている
取り組む価値のある不満



休憩後、全体で課題を分かち合い
3人組にわかれて、分かち合い

ペテン: 継続している不満 + 決まったあり方

イライラしている	犠牲者	飽きている
怒っている	戦っている	寂しい
責めている	無視している	ダメだ
あきらめている	なげやり	面倒くさい
逃げている	隠れている	こんなもんだ
あきれている	見下している	・・・など




ペテン: 継続している不満 + 決まったあり方

もうけ

責任を避ける


自分が正しい/相手が悪い
 支配する/支配を逃れる
 勝つ/負けを避ける
 他者を小さくする
 自己正当化



得るものもあれば失うものもある

ペテン: 継続している不満 + 決まったあり方

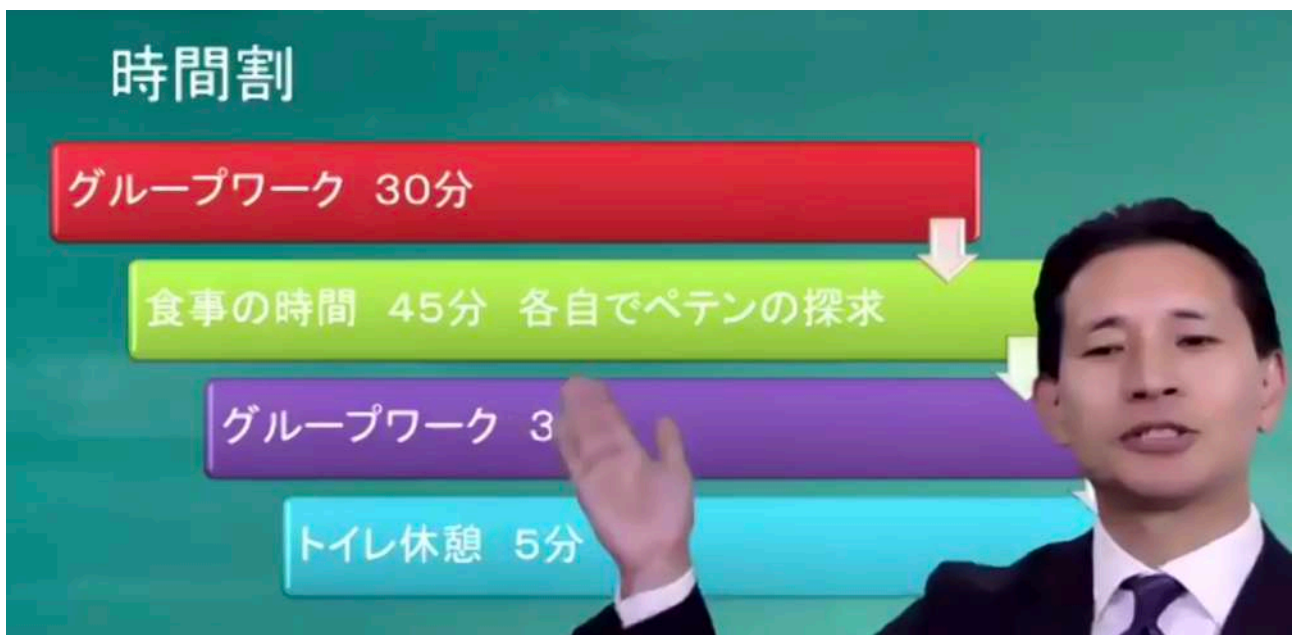
	<u>もうけ</u>	<u>代償</u>	
責任を避ける	自分が正しい/相手が悪い	愛/少なくとも親しさ	イキイキさ
	支配する/支配を逃れる	健康/健全さ/活力	
	勝つ/負けを避ける	自己表現	
	他者を小さくする	幸せ/喜び	
	自己正当化	自己達成/成就	



もうけがあれば代償は追い出される
 一緒には入らない。 水と油の関係

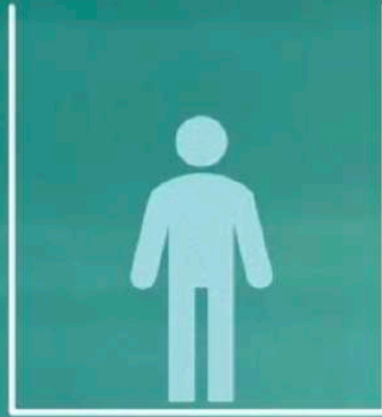
- 継続している不満は何ですか？
- その不満に伴うあり方は何ですか？
- もうけは何ですか？
- 代償は何ですか？
- 代償を払ってでも、そのもうけは得る価値がありますか？
- もうけを手放しますか？
- ペテンから自由になった今、どんな可能性を発明しますか？
- 私が発明しているのは____という可能性です
- その可能性を誰と、いつ分かち合いますか？

■食事休憩



.....

あり方が決定する
自分の器が人や物事の現れ方を決定します



信用できない



あり方(器)が決定する
自分の器と一貫した結果を手に行している

最高の
パートナーシップ



ペテン



あり方(器)が決定する
自分の器と一貫した結果を手に行している

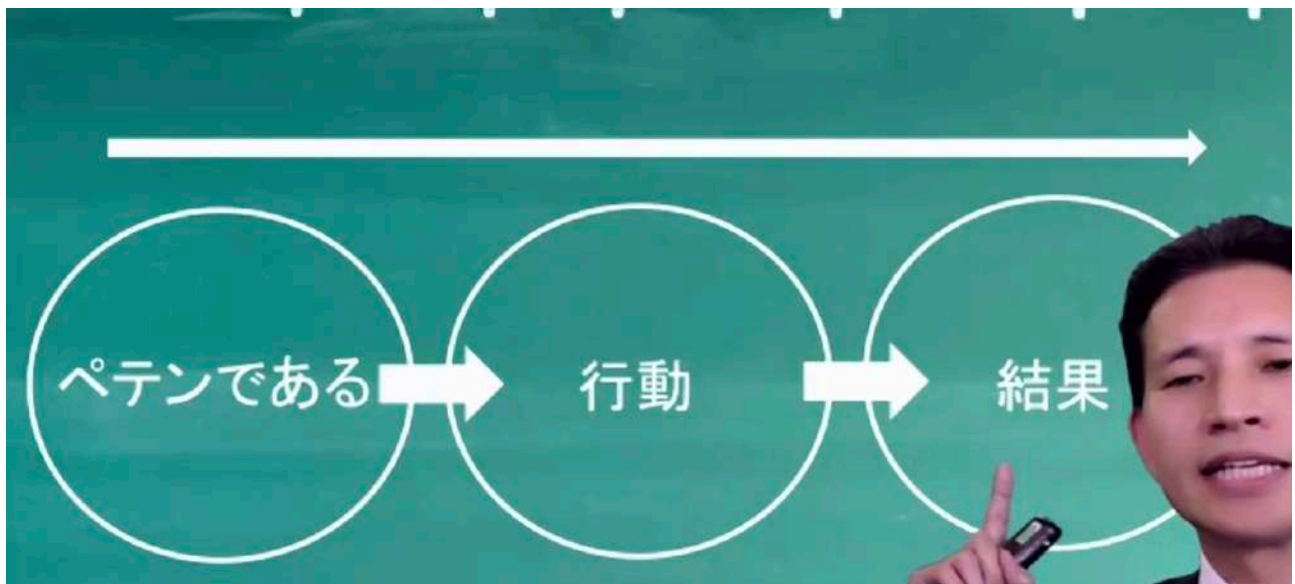


ペテン




可能








■エンロールメントの会話


エンロールメントの会話はどんな会話か

 私が私のまがいものさについて本物であり、まがいものであったことが、私の人生に与えた影響を分かち合うことから始まります。

 私が発明した新しい可能性が、過去に対する勝利として聞かれ、可能性を得たことが相手の心に触れ、感動し、インスパイアしたらエンロールメントの会話は完了です。

 エンロールされた相手は、あなたに、その可能性として関わるようになります。

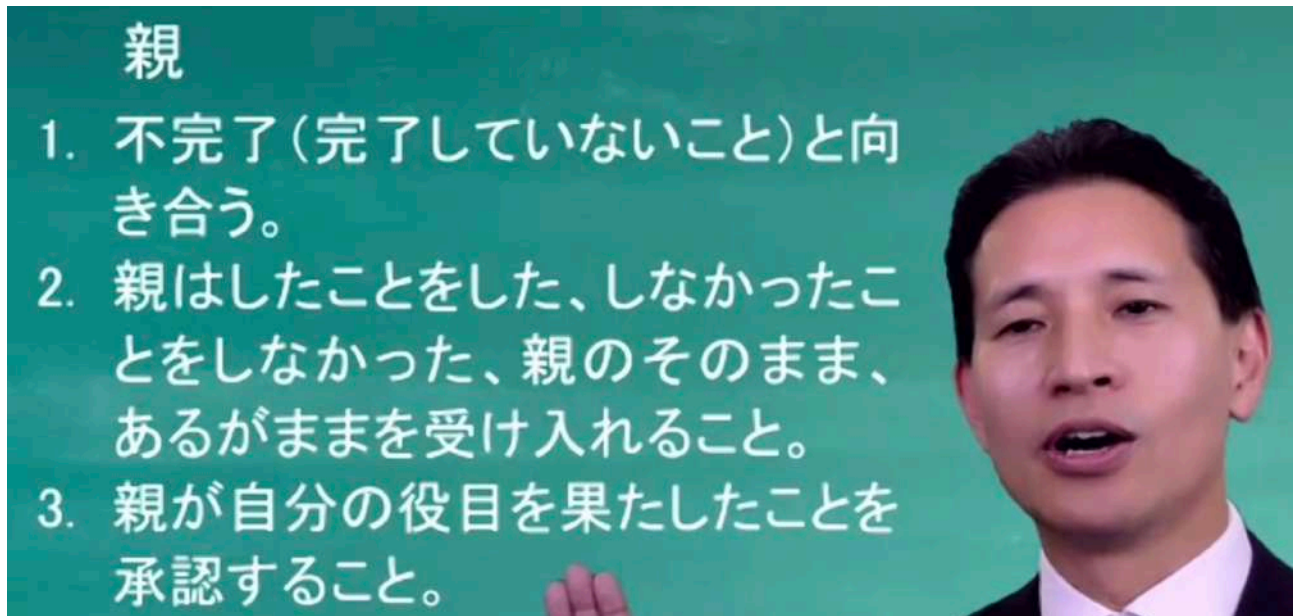
 周囲の環境もその可能性を現実にするのを補強するようになります。

 あなたは新しい可能性の中に立ち、かつ取り囲まれている。これは真のパワーです。

■親との不完了

ボーナスチャンス

→親との不完了を完了させる



親が子供に対して基本的な願いは何？

元気に育てて欲しい 幸せになって欲しい

子供である自分が幸せだよと伝えてあげること

お父さん、お母さんのおかげで
今、元気でいられるよ。ありがとう。

親の手柄としてかえしてあげる。
それは子供である当人しかできない権限がない。

それを伝えることで、やっと子育てが終わる。

大きさが必要

人間関係という分野に何らかのブレイクスルーがある
→最終セッションが終わるまでがボーナスチャンス

3日目の休憩までやれば更にパワフル。

突然話しはじめない。お父さん今までありがとう。

今、ある研修に参加をしていて
(ブレイクスルー)に参加して人間関係という話があって、
お父さんと話したいと浮かんできた。

※しっかりブレイクスルーのことを伝えることを言っている

■休憩

休憩中の課題

エンロールメントの会話をしてくる。

例えば、

- ペテンをしていた人、不完了がある人とエンロールメントの会話をする。
 - 親との完了の会話に取り組む。
 - 大切な人と新しい関係をつくる意図でエンロールメントの会話をする。
- など。

次のセッションの流れ

シリーズ、アドバンスコース、ICLPについて

あなたのアイデンティティの誕生の会話

明日までの課題



■課題のエンロールメントをやり凄い ブレイクスルーが起こった人の分かち合い

みんなの前でシェア

自分が器を大きくすると相手も器が大きくなって関わってくる
今あることを分かち合う。

■次のアップセルコースの詳細

生きることのためのカリキュラム

自分の愛する人生をパワフルに生きている

ブレイクスルー
テクノロジー
コース

アドバンス
コース

ICLP

シリーズプログラム

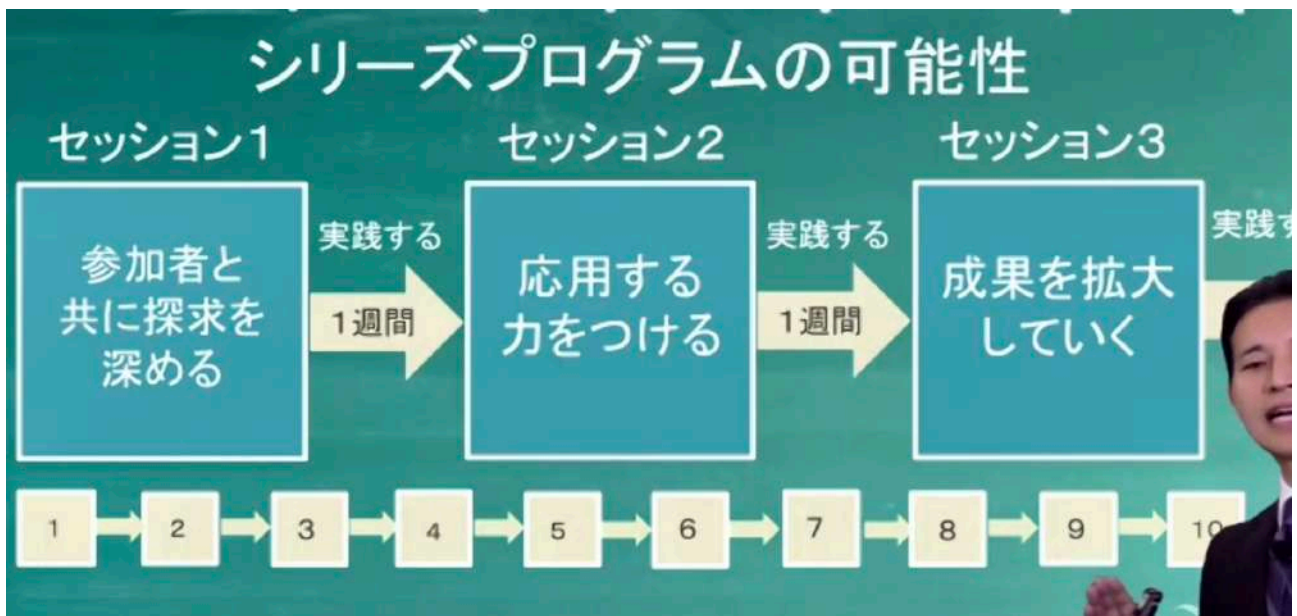


■シリーズプログラム

シリーズプログラムは長期にわたって継続していくプログラム
週イチ 3時間のセッション 10セッション行われていくプログラム

1つのシリーズが終わるのが4ヶ月ぐらいかかる
シリーズはなんのために作られている？

今やっていることを本当に自分のものにしようというプログラム
習得しよう 使いこなそう 生涯いかしていこう。



このコースが終わったあとの人生を想像して欲しい

■みんなの前で発表させる

どんな価値があると思いますか？
自ら想像して編み出して欲しい。

どんな風に役に立ちそうですか？
なにがプラスになりそうですか？

分かち合ってくれる人を手を挙げさせる

→いつものシェアでやらせているからめっちゃ手上がる

→フィールドに立てを繰り返し教育している。

習慣化という可能性

最強の可能性の一つ。

やり続けるのが難しい。短期集中ではいけない。

ある一定期間継続しないと習慣化は生まれてくる。

自分の可能性の氷山を発見していく

← コースで得た可能性

愛する力

チャレンジする勇氣

人をカづけ、影響を与える

自分のままでコミュニケーションできる

人とつながる、仲間ができる、チームができる

不可能を可能にする力、大きな達成をつくる

SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES SERIES

「トランスフォームした人生を生きる」シリーズ

Living a Transformed Life

このシリーズが意図している成果

まだ見えていない壁を発見し突破する能力を拡大する。
可能性から飛躍的な成果をつくる能力を拡大する。
分かち合うこと、自己表現、人間関係・パートナーシップに
ブレークスルーをつくる。

<シリーズ参加者が創りだしている様々な成果>

- ・ 家族の一人ひとりと本当に欲しかった深い関係を得た。
- ・ 自分の器が拡大できた。
- ・ 勇気にチャレンジできる自分になった。
- ・ 苦手な相手ともコミュニケーションを自由にできるようになった。
- ・ 決断力、決定力がついた。
- ・ 愛を受け入れ、人を愛せるようになった。
- ・ 社員と共に会社を拡大できた。
- ・ 自分の夢を実現した。
- ・ 自分を分かち合う力がついた。
- ・ 信頼できるパートナーを得た。
- ・ 人生のどんな問題も巻入る自分になった。
- ・ モチベーションを自分で生み出せるようになった。
- ・ 仕事の生産性が上がった。

ZOOMオンライン開催 11月2日(水)から始めるシリーズ 全10セッション

ZOOMオンライン開催 12月15日(木)から始めるシリーズ 全10セッション

ZOOMオンライン開催 12月26日(月)から始めるシリーズ 全10セッション

ZOOMオンライン開催 11月2日(水)から始まるシリーズ	ZOOMオンライン開催 12月15日(木)から始まるシリーズ	ZOOMオンライン開催 12月26日(月)から始まるシリーズ
全10セッション (水曜日・木曜日)	全10セッション (木曜日中心)	全10セッション (月曜日中心)
11/2(水), 11/16(水), 11/24(木), 12/8(木), 12/22(木), 1/5(木), 1/19(木), 1/25(水), 2/1(水), 2/16(木)	12/15, 12/23(金), 1/5, 1/19, 1/26, 2/9, 2/16, 2/23(木・祝), 3/2, 3/9	12/26, 1/10(火), 1/16, 1/23, 1/30, 2/13, 2/20, 2/27, 3/6, 3/13
時 間: 昼1時から4時15分まで ※11/2の参加は必須となります。	時 間: 夜7時から10時15分まで ※12/15の参加は必須となります。	時 間: 夜7時から10時15分まで ※12/26の参加は必須となります。
申込金支払期日: 10月25日(火) 残金支払期日: 10月25日(火)	申込金支払期日: 10月25日(火) 残金支払期日: 11月24日(木)	申込金支払期日: 10月25日(火) 残金支払期日: 12月5日(月)
参加費: ¥27,500.- (消費税10%を含みます) 申込金: ¥5,000.- 残金: ¥22,500.- 振込先: 三菱UFJ銀行 銀座支店 普通 3751813 口座名 ランドマークワールドワイド(株)		
おしらせ: シリーズではノートを使います。シリーズ用にノートをご用意ください。		

シリーズは基本的にzoomでの開催

欠席したさいは電話でサポートしてくれる。

毎回テーマが違う

全部の日程でなくても6回であれば十分にOK

(卒業生への応援として提供している)

質問はグループリーダーにして

明日、最初のセッションの最後で申し込み時間がある。

明日までに検討しておいて

申し込み金: 5000円 クレジットカード&振込

紹介者に聞いてもいい グループリーダーに聞いてもいい。

家族に相談 会社に相談

■アドバンスコース



とてもつまらないコース

ブレイクするーテクノロジーとは全然違うコース

あなたの未来について 未来を手掛けていく
過去を清掃しないと未来は手に入らない

過去を4日のうち3日で過去を清掃する。全部あなたからおろします。

物語セールスしてくる。

だれかの事例をだしてのビフォー&アフター

Advanced Course

ONLINE

オンライン アドバンスコース

- アドバンスコースは、人生のヴィジョンをパワフルに描き、デザインし、表現し、実現し、満足させることを可能にします。
- 自分がよくなるための果てしないプロセスを生きるのではなく、自分自身であることの自由さを、あなたはアドバンスコースで獲得します。
- 自分の限界を越え、住み慣れた次元を破り、あなた自身がデザインした未来へと ---何が予想できるかではなく何が可能かによって創られた未来へと ---移行します。
- あなたは物事を、希望や好きさらいや恐れから区別し、真にありのままを認められる能力を発揮します。

11月 オンライン

10日(木)	9:00AM~9:30PM
11日(金)	9:00AM~9:30PM
12日(土)	9:00AM~9:30PM
13日(日)	9:00AM~9:30PM
15日(火) 7:00PM~10:30PM	
16日(水)	7:00PM~10:30PM

1月 オンライン

26日(木)	9:00AM~9:30PM
27日(金)	9:00AM~9:30PM
28日(土)	9:00AM~9:30PM
29日(日)	9:00AM~9:30PM
31日(火)	7:00PM~10:30PM

参加費: ¥275,000.- (消費税含む)

申込金: ¥ 20,000.- 申込日より3日以内

残 金: ¥255,000.- 残金支払期日 11月コース: 3日以内

3日目の休憩のときに申し込みできる
最終セッションでも申し込みできる

■ICLP

リーダーシップを訓練するコース

ICLPに参加してくれた人の分かち合い どうだったか？

お客様の声で代表して全体で話す。

.....

■アイデンティティ（強い手札）の誕生

アイデンティティの誕生

強い手札：

人生で成果をつくり上手くやっ
ていくためにあなたが頼りにし
ている決まったあり方。

強い手札：人生で成果をつくり上手くやっ
ていくためにあなたが頼りにし
ている決まったあり方。

何か起きた#3

10代後半から20代前半

1人でやっていかなきゃ $X+Y+Z$
重荷として

何か起きた#2

10代

私は属していない
絆が切れた

$X+Y$

何か起きた#1

3才~5才

ここには何か悪いことがある X
自分は充分ではない



■2日目の課題

明日までの課題

- ✓ 強い手札を決断した出来事を発見して、自分の強い手札を明確にしてくる。

明日までの課題

- ✓ 大切な人と新しい関係をつくる意図で、その人宛ての手紙を書いてくる。

以下の内容を手紙に含んでください

私は・・・を得るためにブレイクスルーテクノロジーコースに参加をしました。

私は・・・を得ています。

私が自分自身と自分の人生のために発見しているのは・・・という可能性です。

明日までの課題

- ✓ 2人の人と分かち合ってくる。
発見したこと、自分のまがいもの、その影響、発見している可能性を本物として分かち合う。

■ボーナスチャンス第2弾

コースを受けたほうがいい人を
最終セッションにご招待する

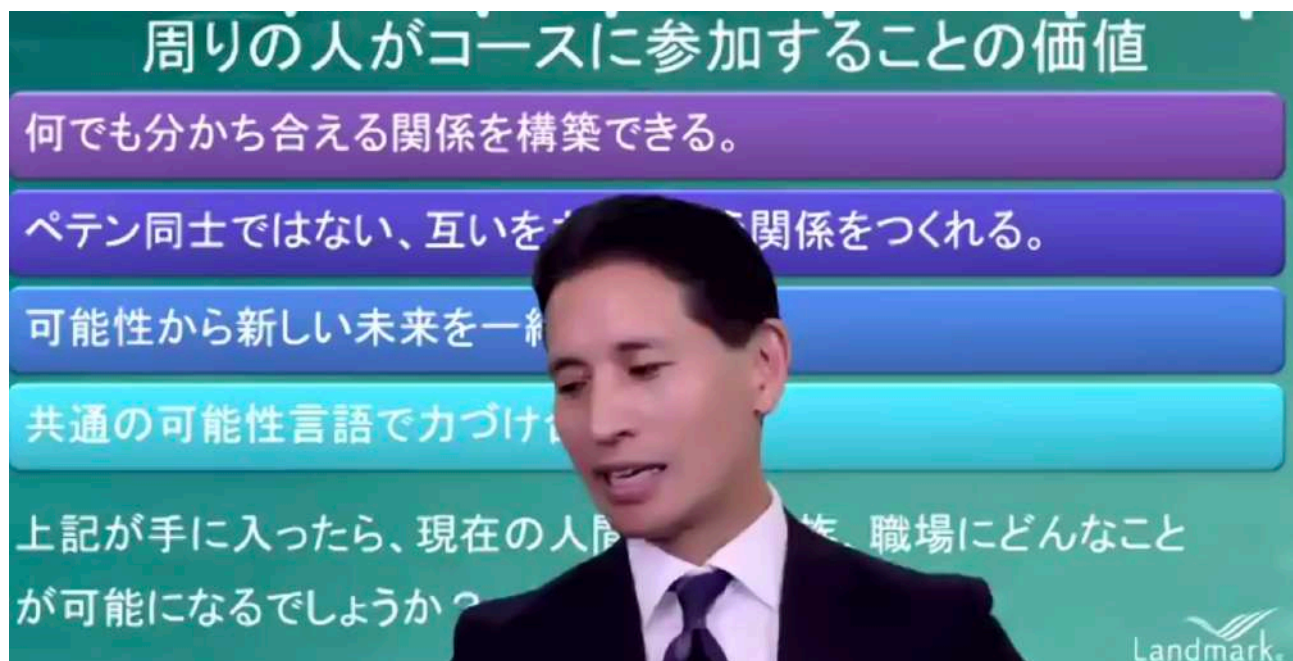
3つの返事

- 1: いってみる
- 2: いかない
- 3: ちょっと考えさせて

どの返事もらったとしても
あなたが得られる可能性は状況や環境に振り回されない
勇敢さの可能性を得れる

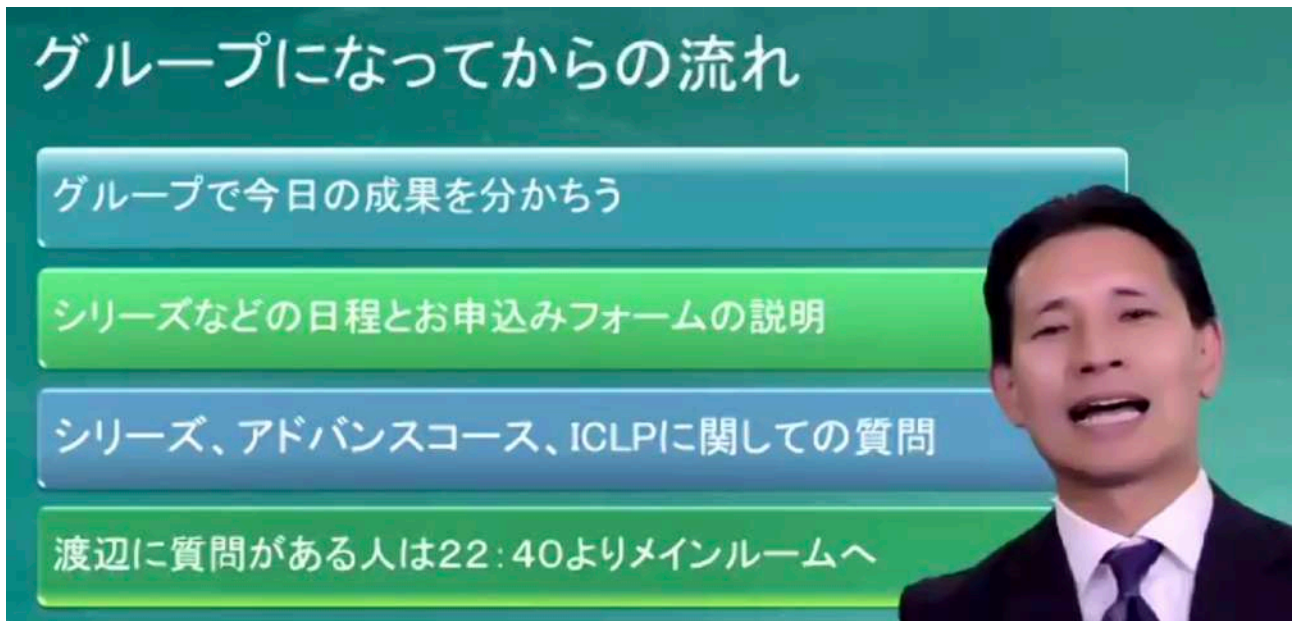
ちゃんと分かち合ったうえでご招待してください。
っていうルール

ボーナスチャンスに取り組んでみようというひと人、手を挙げて



誰かに紹介してエピソードシェア
周りの人が参加してなにが得られたか？

■40%しか伝えられていない



グループになってからの流れ

- グループで今日の成果を分かちあう
- シリーズなどの日程とお申込みフォームの説明
- シリーズ、アドバンスコース、ICLPに関する質問
- 渡辺に質問がある人は22:40よりメインルームへ

渡辺 隆

グループリーダー＋もう1人のサポートが入る

シリーズ、アドバンス、ICLP
のそれぞれのコースで説明する担当がいる。

■3日目：9時～22時半

インフォメーション登録フォーム

https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSeUQtio06_Du29AJHOCpH0RX79SrWXtMv5WWuR9VXOylai2g/viewform

ランドマークのコースに参加したと登録するフォーム

興味があるプログラムについてのチェック項目
今後のプログラム開発の参考にする。

または、後日、営業のTELがある。

ティーンズコース13歳から19歳ためのコースもあり。

→自分の息子が参加したときの話

→最終セッションではお子さんの参加もOK

3日目初日からコースの説明

ボランティアパートナープログラム
期間限定の無料のプログラム

企業向けプログラム

■今日もコートの上で100%プレーすること

■手紙の分かち合い

全体のシェアからスタート

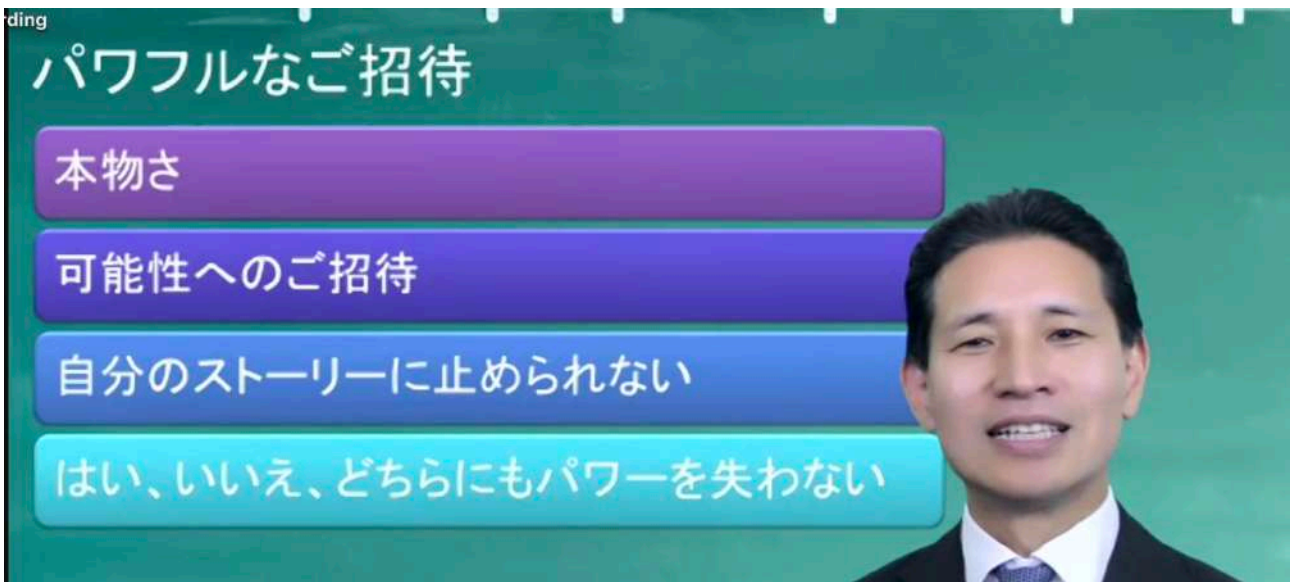
分かち合い

1人1人手紙を分かち合ってください。
分かち合いを聞く時に、その人の手紙の中に自分自身や自分の人生を発見するように聞いてください。

全員が手紙を分かち合い終わって、まだ時間に余裕があったら、もう1つの課題「2人の人に分かち合う」に取り組んで、誰とどんな分かち合いができたか、そのことでどんな体験や発見があったかを、分かち合ってください。

あの人このコースやったほうがいいだろうな。
と思いつかぶ人手を挙げてもらっていいですか？

■パワフルな招待



ding

パワフルなご招待

- 本物さ
- 可能性へのご招待
- 自分のストーリーに止められない
- はい、いいえ、どちらにもパワーを失わない

■人生のアイデンティティの続き

強い手札：人生で成果をつくり上手くやっていくために
あなたが頼りにしている決まったあり方。

何かが起きた#3

10代後半から20代前半

1人でやっていかなきゃ $X+Y+Z$
重荷として

何かが起きた#2

10代

私は属していない $X+Y$
絆が切れた

何かが起きた#1

3才~5才

ここには何か悪いことがある X
自分は充分ではない



強い手札はあなたそのもの

- 全体でシェア
- 3人で手札を分かち合うシェア
- 強い手札に関して質問がある人は？

■非合理である

非合理である

非合理：
理由次第ではない

合理的：
理由次第

非合理的な人としていきる

大きなところにつれていってくれる可能性

非合理

合理的な人はとりまく状況に自分を合わせる。

非合理的な人はとりまく状況を自分に合わせる。

全ての進歩は非合理的な人にかかっている。

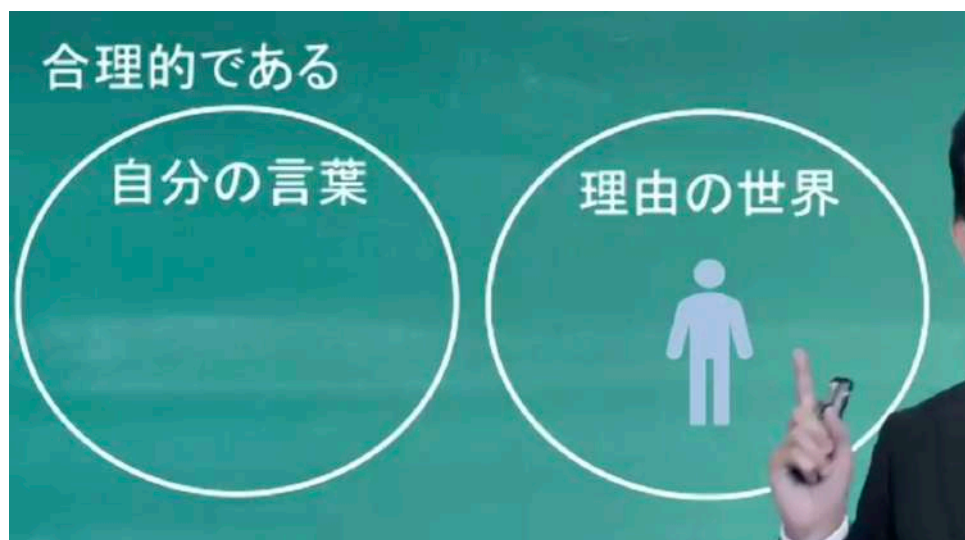
ジョージ・パーナード・ショー

ガンジー：戦争をせずに植民地のインドを独立させる

人類が進歩して瞬間

争わずに独立なんて、、そんな世界なんてあるのか？

非合理的な人でないと、とてつもないことは達成できない



合理的：理由の世界でいきている→普通の人生

非合理：自分の言葉でいきている→普通ではない人生

常識と非常識は間違わないで。

ブレイクスルーテクノロジーの講習で1番ハードルが高い課題

休憩中の課題

非合理的な行動をとってくる。

例えば、

- ペテンをしていた人と新しい関係をつくる。
- 誰かとの不完了を完了する会話をする。
- 両親と完了をつくる。
- 控えていた気持ちや感謝や愛を伝える。
- 可能性を貢献したい人を最終セッションにご招待する。 など。

次のセッションの流れ

- 非合理的な行動からの分かち合い
- シリーズに申し込む機会
- あなたとは何者か？の探求を深める
- 食事の休憩中の課題

■課題の分かち合い

全体→グループ→質問あれば受け付ける

■シリーズに申し込む機会

実際にシリーズに参加した人2名に前にでて話をしてもらう。
それぞれ分かち合う

自分が参加するとしたらどんな成果を得れるかな？と考える
自分ごととして捉えさせる。

→お母さんの気持ちを代弁する。

そんな成果を発表する

→50歳の男性の気持ちを代弁する

職場や奥さんとの関係

いつものグループにわかれて

質問・手続きなどすべてサポートする

→みんな申し込んでいくので断りきれない

終わった人は全体zoomで下の課題に取り組む↓

全体で開始するまでの間、課題に取り組んでください

ペテン	継続している不満 + 決まったあり方	もうけ	代償	イモイモキ
		正しい/間違っている(悪い)	愛/親しさ	
		支配する/支配を逃れる	健康/バイタリティ	
		自己正当化/他を否定	/幸福感	
		勝つ/負けを避ける	自己表現	
			満足/充実感	

強い手札: 人生で成果をつくり上手くやっていく
ためにあなたが頼りにしている決まったあり方

何が起きた#3	一人でやっていけなさを 重荷として	X+Y+Z
何が起きた#2	抱え隠している 絆が切れた	X+Y
何が起きた#1	ここには強か無いよがある 自分は充分ではない	X

■様々な不満に対して、ペテンを区別して、可能性をつくってください。

1. 不満に伴うあり方は何ですか？
2. もうけは何ですか？
3. 代償は何ですか？
4. もうけを手放しますか？
5. どんな新しい可能性を発見しますか？

■あなたの強い手札を決断した出来事を発見してください。その時何を決断しましたか？

© 2009-2021 Landmark Worldwide. All rights reserved

■私とは、本当には誰なのか？

ペテンは不満がある状況で起こる
もうけの状況が始まる→代償がある

私とは、本当には誰なのか？

強い手札: 人生で成果をつくり上手くやっていくためにあなたが頼りにしている決まったあり方

ペテン: 継続している不満+決まったあり方


何かが起きた#3	1人でやっていかなきゃ 重荷として	X+Y+Z	もうけ	代償
何かが起きた#2	私は属していない 絆が切れた	X+Y	いい相手が悪い 支配を逃れる 逃げを避ける	愛/少なくとも親しさ 健康/健全さ/活力 自己表現
何かが起きた#1	ここには何か悪いことがある 自分は充分ではない	X	自分を小さくする 自己正当化	幸せ/喜び 自己達成/成就

この2つのあり方はどこで交差しているのか？

日々の生活で、起きてから寝るまでの間、あなたはどれくらいペテンと強い手札で過ごしているでしょうか？

手札 → ペテン → 手札 → 手札 → ペテン → ペテン → 手札 → 手札

毎日を振り返って、起きてから寝るまでのペテンと強い手札の出現状況を観察してください。



最強のチーム

一緒に探求する

互いに分かち合う

目の前の人に貢献する



グループになってからの流れ

電話する時間の約束 15分

食事の時間 45分

グループで課題に取り組む 15分

シリーズ、アドバンス、ICLPIに関する面白い人、
課題の続き、その他、など。 30分

■最終セッションまでのサポートの会話

2日空くのでそれまでのサポートで電話をする

1日目：昼・夜 2回

2日目：昼・夜 2回

3日目：昼 1回 夜 最終セッション

何時に電話していいか？時間帯をグループリーダーのLINEに送る。

■課題のシェア

シリーズ入った方にアップセルとして

→アドバンスコースの話を聞かないか？と勧誘して話しをさせる。

.....

■ペテンと強い手札の組み合わせ

これがそこにいるあなた。

この2つの在り方の共通点はなんだろう？

どっちも自分？共通性質は？決まった在り方

→固定されている

共通性質は、自動的で反応的で設定済みの在り方

→機械

そうするとあなたは何者か？より核心に迫る。

ロボットなのか？

あなたは何者か？というと、あなたは機械ってこと。

どう反応するかをあなたは選べない

脚気の検査：膝のしたを叩くと足があがる構造

セッションのグループ名：運命共同体

ただのメカニズムがあるだけ。私はそこにはいない

だったら直す必要もない。あなたじゃないんだから。

なおらない変わらないものを

一生懸命変えようとしたらあなたが苦勞するだけ

あなたは機械です

誰、または何かを悪いとしているときはペテン

上手くやっていくことに駆り立てられているときは強い手札



他の機械と同じように
あなたの機械も常に何かを製造します。

何を製造しているでしょう？

誰かに全体でシェアしてもらおう。

何をつくっているのか？

→意味

意味づけ：あなたの機械の性質は意味づくり機械
本当の意味もないかも。

人生にはなんの意味もありはしない。

人生

ここには何か悪いことがある
この自分は充分ではない
私ははずかしがりやだ
いい子にならなければ
兄の方が愛されている
お母さんはかまってくれない
私はひとりぼっちだ
勉強ができないと嫌われる
友達より頑張らないと
算数は苦手だ
私は一番にはなれない

友達ほど可愛くない
面白くないとだめだ
友達ができない
友達は信用できない
ついていけない私はダメだ
運動は苦手 絵は得意
あの人みたいにはなれない
私はピリだ
勇気がない
臆病者だ
英語は得意だけど他は



先生も人も味方じゃない
はやく大人にならなければ
親は頼りにならない
やはり私は馬鹿だ
みんなに馬鹿にされた
あの人は気が合う
あの人は苦手
あの人とは仲良くなれる
あの人とは仲良くなれない
親に心配かけてはいけない
良い会社に入らなければ

人生

自分はダメだ 上司は評価してくれない 今の政治は 判断が悪すぎる 遅い
もっといい人にならないといけない 仕事がつまらない 給料が低い
父さんは分かってくれない 良い出会いがない 休みがながい 部下がなめている
母は私を支配しすぎる 老後が心配だ 収入が低い 会社内では不公平だ
私はできない みんな分かっていない 仕事が面白くない 上司は冷たい
人はみんな馬鹿だ 私ばかり大変だ 理解不能 どうせ 私には無理だ
どうせ分かり合えない 私の人生は不幸だ 嫌われる 頑張るだけ おおざっぱ
幸せにはなれない 夫は理解がない また断られる ない すべて重荷だ
あの人は恵まれている 妻は怒りっぽい 直すべき いつもと違う いるはずだ
人より優れていなければいけない 子どもが言うこと聞かない 失敗は
あの人は良い、あの人はダメ 俺は失敗者 苦勞する

みるもの、きくもの
すべてに意味をつくりだしている。

人生を意味で埋め尽くしている。

そんな意味はもともとありはしない
そんな意味は人生から取り除いてください。

人生は空っぽで意味なし
そして、空っぽで意味なしという
空っぽで意味なし

■意味無し劇場ビデオ



「何物なし」に立つことができたなら
そこにあるのは、すべての可能性で



■言葉が世界を作り出す ビデオ



「言葉は存在の家である。この家の中に人間は住んでいる。言葉で思考し創造するものたちは、この家の守り手である」

マルティン・ハイデガー (1947)

出来事になんの意味もない。
自分で人生を創作していける

グループでシェア→1人1分シェア

そのあと、バックエンドの案内が再度来る

**入っていない人にはかなり押し付けられる
ある意味逃げられない感じ**

シリーズに入った人はアドバンスやICLPの案内がいく。

話だけでも聞いてみませんか？

→クロージング部隊に流す

グループリーダーが検討してみてくださいと何度も何度も伝える。

■休憩

■宣言

宣言

私は私の言葉です。
何ものなしから、私の言葉が世界を
つくります。

そこに立って
今、私が発明しているのは……
という可能性です。

可能な限りシンプルに。ただ、しっかり含めたい内容はふくめる

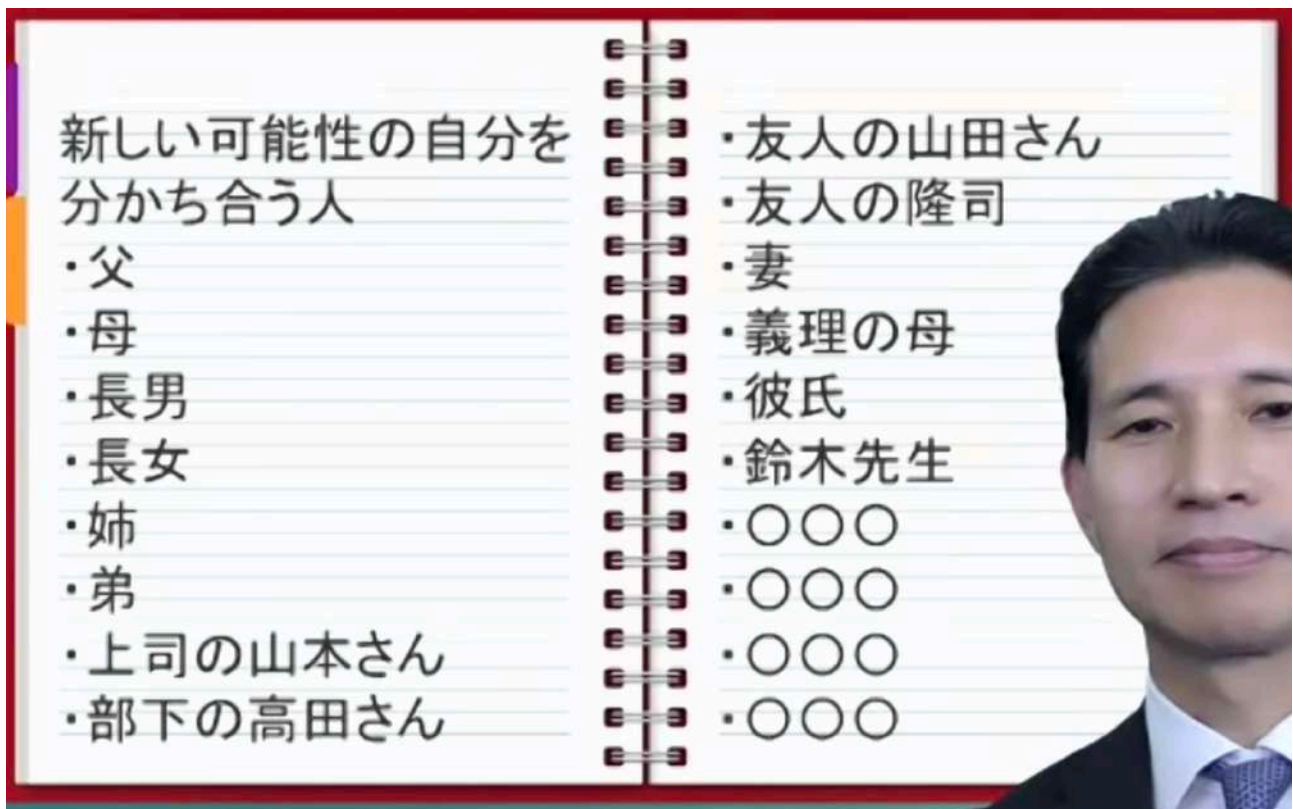
●●になるという言葉は使わない

今はそうじゃないけども、いつの日かなるという話になっている

■可能性を宣言する人を募る

ファイナルセッションまでの課題

1. 発明した可能性から生きる
2. 発明した可能性を周りの人に
分かち合い、エンロールメント
の会話をする



可能性は分かち合えば分かち合うほど、現実になってくる
エンrollmentキャンペーン

リストはどんどん書き足していくこと
誰を招待するか？その人の名前にチェックする。

分かち合って招待すること。
時間ある、ちょっと招待するじゃだめ。

ケチになるな気前よくなる。支えになるのは紹介者の人。

■紹介者の人がzoomにきてくれている

紹介者の人を紹介する

- ・ どのような関係か？みんなに知らせる
- ・ 発明した可能性を紹介者に分かち合う 伝える。

本当にありがとう、発明している可能性は〇〇だよ。
これかも一緒によろしくね。

アイシテルヨ。

・一言、二言 承認の言葉をいって

※数十名の方を全体で発表させている。

■参加者と紹介者の宣言 ビデオ



■今日これなかった紹介者に承認をしたい人は電話していいよ

3分で電話していいよ。しっかり承認させる。

サポートメンバーグループリーダー

それぞれ承認してあげる。

他社貢献がすべて。それを体現している人達。



ひとり一人が可能性を宣言する。

ご招待したい人を分かち合い、サポート

シリーズ、アドバンス、ICLPに関する質問

質問がある人は22:50に